

# 日曜学校だより 保護者のみなさまへ

12月14日号 vol.6

こんにちは。賢明寺、副住職の大江英崇です。

みなさんがイメージする12月のイベントと言えば…、やはり、クリスマスでしょうか？  
お寺ですが、今回はあえてここから始めてみたいと思います。

クリスマスは、25日、イエスキリストさんの誕生日です。ところで、誕生日の時に、誕生日を迎えた相手に向かって、なんと言いますか？聞くまでもなく、「おめでとう！」というのがほとんどだと思います。

しかし、せっかくこの「日校だより」を、読んでくださっているのです。今度から、仏教的あじわいをして、誕生日の時に相手に向かって、「ありがとう」と言ってみませんか？

この「有難う」とは、「有ることが難しい」ということ。つまり、「ありがたかった」ことが今、「ある」ということです。

もし、子どもさんに言うなら、「生まれてくれてありがとう」「私の子になってくれて、ありがとう」です。

そして、それができるようになってきたら、もう一歩進んでみます。誕生日を迎えた人自身が「おめでとう」と言って欲しい気持ちは分かりますが、「私を祝って、祝って！」ばかりではなく、自ら、周りの人に向かって、「あなたのおかげです。ありがとう！」と言えると、みんな嬉しい気持ちになるのではないのでしょうか？

子どもが親に向かって言うなら、「生んでくれてありがとう」「私の親になってくれてありがとう」です。尊いご縁をいただいて、今の関係を結ばせていただいているのです。お互いをほめたたえる。お互いを尊敬しあえる。そんな心の表れがこの「ありがとう」にはあると思います。

そこを大事にいただくと、いのちを見つめ、今の生に感謝をしていく気持ちが芽生えていくかもしれませんね。 なもあみだぶつ。



来週、12月21日(日)に「お寺カフェ」をします。気になる方はぜひ、のぞきにきてくださいね。

賢明寺ホームページ <http://kenmyouji.com>

Facebook もあります！